

# 生物多様性保全に向けた本県の取組状況について

## ● 新しい生物多様性地域戦略の策定 …別添①

「愛知ターゲット」を踏まえた愛知県独自の目標を設定するとともに、「あいち方式」等を位置付け国際的な水準を視野に入れた新たな地域戦略を策定。COP11において紹介するなど、先導性を強くアピール。

## ● 生態系ネットワークの形成 …別添②

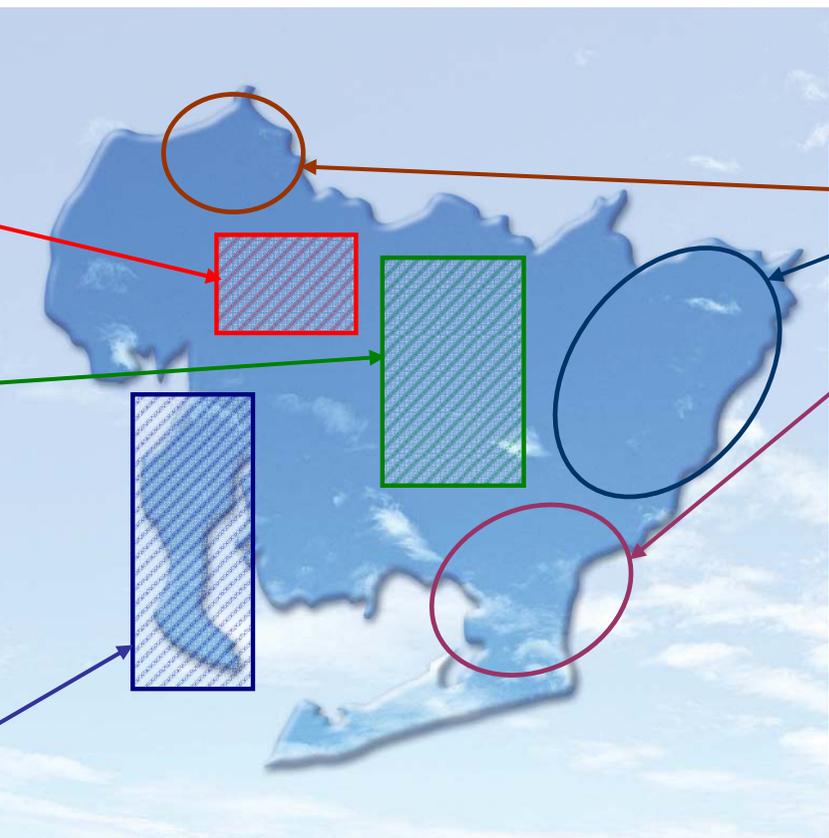
「あいち方式」(生態系ネットワークと代償ミティゲーションの組合せ)の全国に先駆けた具体化。全県展開に向けたモデル事業の継続実施。

### 《モデル事業H22～》

**名古屋東部丘陵(市街地モデル)**  
 《テーマ》21大学が先導する、ギフチョウやトンボの舞うまちづくり  
 《趣旨》大学キャンパス、企業、公共施設の敷地、緑地、水辺などを再生・ネットワーク化し、東部丘陵の生態系を保全再生

**西三河(里山モデル)**  
 《テーマ》自然・産業・暮らしが共生する新たな里山・田園のシステムを考えよう  
 《趣旨》耕作放棄地の活用、放置された人工針葉樹林の適度な広葉樹林化とともに、これらをネットワーク化し、より豊かな生態系を保全・再生

**知多半島(里地モデル)**  
 《テーマ》ごんぎつねと住める知多半島を創ろう  
 《趣旨》農地やため池とその周辺の森を再生・ネットワーク化し、海のある里地里山を保全再生



### 《生態系調査H23～》

**H23 尾張北部 新城・設楽**  
**H24 東三河**  
 《調査趣旨》  
 ・生態系ネットワーク形成に不可欠な予備的調査の実施  
 《調査内容》  
 ・自然的、社会的状況の整理  
 ・池沼、河川等の現地調査  
 ・土地利用状況等の確認  
 ・生態系ネットワークの形成方針の検討

## ● COP11への参加

COP11において、ミティゲーションとの組合せによる生態系ネットワーク形成の先導モデル（あいち方式）等の本県独自の先駆的な取組を世界へアピール。

### 《COP11の概要》

- 開催地 ハイデラバード（インド）
  - 開催期間 平成24年10月8日～19日
  - 参加国数 締約国 180
  - 参加者数 約13,000人
- （COP10実績）

### 【COP11における本県の主な取組】

- ・COP10開催県として、COP11及び同時開催のサブ・ナショナル会議※（本県は、共同代表）に参加
  - ※「愛知ターゲット」の達成に向けた州や都道府県レベルの世界的な連携組織
- ・COP11サイドイベントへの参加（本県の取組の発表）
- ・パネル展示、リーフレット配布

## ● 生物多様性自治体ネットワーク事業の推進

全国の自治体、NPO、企業、ユース等の参加によるフォーラムを開催。  
「生物多様性自治体ネットワーク」を活用し全国へ情報発信。

### 《生物多様性自治体ネットワークの概要》

- 設立 平成23年10月7日
- 代表 愛知県
- 構成員 全国123自治体（平成24年6月現在）
- 事業
  - ① 生物多様性の保全等に関する取り組みや成果の情報共有と発信
  - ② 他のセクターとの連携・協働
  - ③ 自治体セクターの意見・要望の発信

### 生物多様性自治体ネットワーク構成団体

